

ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Since 2007



ヤブシガサ

春、海上の森の雑木林に妖精専用の小さな傘が出現します。
いたずらで誰かが破ったのではなく、もともとやぶれた様な形の葉っぱをしています(キク科の多年草)。

 **この人!**

「森でeこと」

株式会社 INAX 水野 治幸さん



特集 海上の森はいま

ムーアカデミー・セミナー (指導者養成講座) ～ユニバーサルプログラムを実施して～ 幼児森林体験フィールド活動状況レポート☆

海上の森の発行物を紹介します

「海上の森幼児森林体験マニュアル

～フィールドの森づくりと実践活動にあたって～

あいち海上の森センターでは、幼児森林体験のためのフィールドづくりや実践活動のための方法、プログラム等をまとめた冊子を作成しました。本書に記載されているプログラムは、すべて海上の森に整備した「幼児森林体験フィールド」で体験できますので、本書の利用と併せてフィールドにもぜひお越しください。

発行：ムーアカデミー、全60ページ、A4サイズ

※この冊子は販売しておりませんが、当センターのライブラリーでご覧いただけます。

☆書籍販売開始☆

海上の森の刊行物を、当センターにてご購入いただけるようになりました。

※詳しくはp4「その他のお知らせ」をご覧ください。



特集 海上の森はいま

ムーアカデミー・セミナー（指導者養成講座） ～ユニバーサルプログラムを実施して～

昨年度のムーアカデミー・セミナーは、「ユニバーサルプログラム」の指導者養成を行いました。ユニバーサルプログラムとは、障がいのある方、高齢の方などのような方も、自然観察や工作などの野外活動に参加して楽しめるプログラムのことです。

受講生は、障がいのある方と初めて接する人が多く、講座を受けながら、接し方や一緒に行う企画の立て方を勉強しました。受講生が指導者となり、障がい者と一日を過ごす企画を立て実践しました。

当日、障がい者の方には介助者とペアで来ていただきました。午前中は「海上の森現地実習」で、

林内でのゲームや観察などを、午後からは「手作り竹楽器の音楽祭」を行い、竹を用いた楽器をつくり演奏をしました。

受講生は、障がい者の方に接するのが初めてとは思えないほど、落ち着いて対応をしていました。

そして、受講生と障がい者の方々の互いの努力により、一日を楽しく過ごすことができました。



幼児森林体験フィールド活動状況レポート☆

センターでは、本年3月20日にオープンした「海上の森幼児森林体験フィールド」を、多くの人たちにご利用いただきたいと考えています。

オープン以来、一般の来場者の他、森のようちえん活動に取り組む団体や幼稚園・保育園など様々な皆様にご利用いただいています。その中で、幼稚園の遠足として利用していただいた状況を報告します。

【利用例】

朝からバスで幼稚園を出発し、午前10時頃から昼食をはさんで午後2時くらいまでフィールドで活動しました。

森の中には特別用意された遊具はありません。山の斜面をすべり台にしたり、落ちている枯木を使って基地づくりをしたり、園児たちは自由に遊びました。

利用していただいた幼稚園の保育士の方に、感想などをお聞きしました。

○ はちまん幼稚園（瀬戸市八幡台）

子どもたちは、そのままの自然の中で身も心も開放させ遊び込んでいる姿がありました。五感を働かせて自然を受けとめる経験は、幼児期にこそ必要ですね。また利用させてください。

○ まふみ幼稚園（豊田市東梅坪町）

海上の森では、木の枝や葉等自然の恵みを使い家づくりができたり、意欲的に挑戦できるロープの斜面登り等、子どもたちが生き生きと活動する姿が見え、私たちも嬉しく、今後もぜひ利用したいと思います。

